

文化生涯学習課

<記載要領>

講じた措置の内容が完了していない場合は完了予定の時期を記入してください。(記載例:平成〇〇年〇月)

完了した場合は完了した時期を記入し、「平成〇〇年〇月完了」としてください。

変更部分は**朱書**で表示してください。(上書きして構いません。)

所属名称	団体名	指摘事項	意見・要望事項等	講じた措置	完了時期
文化生涯学習課 学習振興・人権教育係	田川市子ども育成会連絡協議会	決裁規程が整備されていなかった。	決裁規程は、権限や責任を明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	今後、事務局では団体に関する文書收受、文書作成補助及び連絡調整等に限定するため、決裁規程は必要としない。	平成29年3月
		会計規程が整備されていなかった。	会計規程は、作成すべき証票類や会計処理の方法などを明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	出納事務については団体が行っているため、会計規程の整備は必要としない。	平成29年3月
		①通帳管理をしていない、②通帳や届出印の保管場所や管理者が同じ、③鍵のない場所に保管している状況があった。	通帳管理の徹底とともに、通帳と届出印の管理者を明確に区分し、最低限鍵付きの保管場所とするなど、保管・管理体制を改善されたい。	出納事務については団体が行っており、市職員は関わっていない。	平成29年3月
		任意団体に関与していない市職員による出納事務の点検や事務執行に関する指導が行われていなかった。	事故等の未然防止を図るため、任意団体に関与していない市職員が定期的に点検等を行い、その結果について報告させるなどの体制に改善されたい。	必要に応じて団体事務に従事していない職員が点検を行うこととした。	平成29年3月
		環境変化等に対応して検証や改善努力が実践されていないため、課題が放置されたままになっている。	日常のマネジメントの一環として任意団体のあり方について検証し、説明責任を果たしていくことが必要なことから、マネジメント(特に部課長)の改善を図られたい。	協議会において、事業内容等PDCAサイクルを確立し、事業の検証等を協議会役員と協働して行っていく。また、課題の洗い出しを行い協議会に提示した。	平成29年3月
田川市青少年育成会連絡協議会	決裁規程が整備されていなかった。	決裁規程は、権限や責任を明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	事務局では団体に関する文書收受、文書作成補助及び連絡調整等に限定するため、市の事務決裁規程に基づいて処理している。	平成29年3月	

措置状況報告一覧表【H28行政監査】

所属名称	団体名	指摘事項	意見・要望事項等	講じた措置	完了時期
文化生涯学習課 学習振興・人権教育係	田川市青少年育成会連絡協議会	会計規程が整備されていなかった。	会計規程は、作成すべき証票類や会計処理の方法などを明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	現規約の条文を精査した結果、記載内容を変更せず、事務処理上の運用の明確化することで対応が可能であると判断し、取扱いを整理した。	平成29年3月
		現金出納簿等の検査を市職員が行っていないかった。	団体監査機関による検査だけでなく、現金出納簿と預金残高の確認を複数の者が毎月チェックを行うなど、担当課として団体の会計処理が適正に行われているかの検査体制を整備されたい。	現金出納簿を整備し、毎月末に当該月の伝票及び通帳を回覧し複数職員によるチェックを実施している。	平成29年3月
		①通帳管理をしていない、②通帳や届出印の保管場所や管理者が同じ、③鍵のない場所に保管している状況があった。	通帳管理の徹底とともに、通帳と届出印の管理者を明確に区分し、最低限鍵付きの保管場所とするなど、保管・管理体制を改善されたい。	通帳と届出印の保管場所及び管理者を別々に分けるとともに、施錠できる場所で管理している。	平成29年3月
		任意団体に関与していない市職員による出納事務の点検や事務執行に関する指導が行われていなかった。	事故等の未然防止を図るため、任意団体に関与していない市職員が定期的に点検等を行い、その結果について報告させるなどの体制に改善されたい。	現金出納簿を整備し、毎月末に当該月の伝票及び通帳を回覧し、団体事務に従事していない職員が毎月末に点検を行い、課長に報告している。	平成29年3月
		環境変化等に対応して検証や改善努力が実践されていないため、課題が放置されたままになっている。	日常のマネジメントの一環として任意団体のあり方について検証し、説明責任を果たしていくことが必要なことから、マネジメント(特に部課長)の改善を図られたい。	協議会において、事業内容等PDCAサイクルを確立し、事業の検証等を協議会役員と協働して行っていく。また、課題の洗い出しを行い協議会に提示した。	平成29年3月
文化生涯学習課 公民館・スポーツ係	田川市公民館連絡協議会	補助金申請と交付事務を同一の職員が行っていた。	補助金交付手続の適正執行の点から、相互牽制が図られ、チェック機能が働くような体制に改善されたい。	別々の職員が行うとともに、複数職員によるチェックを行うこととした。	平成30年5月
		決裁規程が整備されていなかった。	決裁規程は、権限や責任を明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	田川市公民館連絡協議会規約の改正を行った。	平成29年7月
		会計規程が整備されていなかった。	会計規程は、作成すべき証票類や会計処理の方法などを明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	田川市公民館連絡協議会規約の改正を行った。	平成29年7月

## 措置状況報告一覧表【H28行政監査】

所属名称	団体名	指摘事項	意見・要望事項等	講じた措置	完了時期
文化生涯学習課 公民館・スポーツ係	田川市公民館連絡協議会	監査機関がなかった。	監査機関は任意団体の適正な会計事務を担保し、透明性を確保するために必要な機関であるため、監査機関を設置されたい。	監査機関を設置した。	平成29年7月
		①通帳管理をしていない、②通帳や届出印の保管場所や管理者が同じ、③鍵のない場所に保管している状況があった。	通帳管理の徹底とともに、通帳と届出印の管理者を明確に区分し、最低限鍵付きの保管場所とするなど、保管・管理体制を改善されたい。	通帳と届出印の保管場所及び管理者を別々に分けるとともに、施錠できる場所で管理している。	平成29年3月
		任意団体に関与していない市職員による出納事務の点検や事務執行に関する指導が行われていなかった。	事故等の未然防止を図るため、任意団体に関与していない市職員が定期的に点検等を行い、その結果について報告させるなどの体制に改善されたい。	学習振興・人権教育係長の点検を行うこととした。	平成29年3月
		環境変化等に対応して検証や改善努力が実践されていないため、課題が放置されたままになっている。	日常のマネジメントの一環として任意団体のあり方について検証し、説明責任を果たしていくことが必要なことから、マネジメント(特に部課長)の改善を図られたい。	協議会において、事業内容等PDCAサイクルを確立し、事業の検証等を協議会役員と協働し、課題の洗い出しを行った。	平成29年3月
文化生涯学習課 文化係	田川市優秀映画鑑賞推進事業実行委員会	任意団体の事務に従事する明確な根拠がなかった。	市職員が公務として任意団体事務に従事する場合は、その根拠を明確にするため、事務分掌規則に規定するか事務分担表等の中で明文化されたい。	事務分担表に明文化した。	平成29年2月
		決裁規程が整備されていない。	決裁規程は、権限や責任を明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	規約の整備を行った。	平成29年6月
		会計規程が整備されていない。	会計規程は、作成すべき証票類や会計処理の方法などを明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	規約の整備を行った。	平成29年5月

措置状況報告一覧表【H28行政監査】

所属名称	団体名	指摘事項	意見・要望事項等	講じた措置	完了時期
文化生涯学習課 文化係	田川市優秀映画鑑賞推進事業実行委員会	現金出納簿等の検査を市職員が行っていなかった。	団体監査機関による検査だけでなく、現金出納簿と預金残高の確認を複数の者が毎月チェックを行うなど、担当課として団体の会計処理が適正に行われているかの検査体制を整備されたい。	現金出納簿等を整備し、毎月末に当該月の伝票及び通帳を回覧しており、複数職員によるチェック及び課長決裁を受けている。	平成29年3月
		①通帳管理をしていない、②通帳や届出印の保管場所や管理者が同じ、③鍵のない場所に保管している状況があった。	通帳管理の徹底とともに、通帳と届出印の管理者を明確に区分し、最低限鍵付きの保管場所とするなど、保管・管理体制を改善されたい。	通帳を作成し、通帳と届出印の保管場所及び管理者を別々に分けた。また、施錠できる場所で管理している。	平成29年6月
		任意団体に関与していない市職員による出納事務の点検や事務執行に関する指導が行われていなかった。	事故等の未然防止を図るため、任意団体に関与していない市職員が定期的に点検等を行い、その結果について報告させるなどの体制に改善されたい。	現金出納簿等を整備し、毎月末に当該月の伝票及び通帳を回覧しており、団体事務に従事していない職員が毎月末に点検し、課長決裁を受けている。	平成29年3月
		環境変化等に対応して検証や改善努力が実践されていないため、課題が放置されたままになっている。	日常のマネジメントの一環として任意団体のあり方について検証し、説明責任を果たしていくことが必要なことから、マネジメント(特に部課長)の改善を図られたい。	実行委員会において、事業内容等PDCAサイクルを確立し、事業の検証等を実行委員と協働して行った。また、課題の洗い出しを行い実行委員会に提示した。	平成29年3月
	田川市世界記憶遺産活用活性化推進委員会	任意団体の事務に従事する明確な根拠がなかった。	市職員が公務として任意団体事務に従事する場合は、その根拠を明確にするため、事務分掌規則に規定するか事務分担表等の中で明文化されたい。	事務分担表に明文化した。	平成29年2月
		補助金申請と交付事務を同一の職員が行っていた。	補助金交付手続の適正執行の点から、相互牽制が図られ、チェック機能が働くような体制に改善されたい。	別々の職員が行い、複数職員によるチェックを行っている。	平成29年2月
		決裁規程が整備されていなかった。	決裁規程は、権限や責任を明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	規約の整備を行った。	平成29年5月

## 措置状況報告一覧表【H28行政監査】

所属名称	団体名	指摘事項	意見・要望事項等	講じた措置	完了時期
文化生涯学習課 文化係	田川市世界記憶遺産活用活性化推進委員会	会計規程が整備されていなかった。	会計規程は、作成すべき証票類や会計処理の方法などを明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	規約の整備を行った。	平成29年5月
		現金出納簿等の検査を市職員が行っていなかった。	団体監査機関による検査だけでなく、現金出納簿と預金残高の確認を複数の者が毎月チェックを行うなど、担当課として団体の会計処理が適正に行われているかの検査体制を整備されたい。	現金出納簿等を整備し、毎月末に当該月の伝票及び通帳を回覧しており、複数職員によるチェック及び課長決裁を受けている。	平成29年3月
		①通帳管理をしていない、②通帳や届出印の保管場所や管理者が同じ、③鍵のない場所に保管している状況があった。	通帳管理の徹底とともに、通帳と届出印の管理者を明確に区分し、最低限鍵付きの保管場所とするなど、保管・管理体制を改善されたい。	通帳と届出印の保管場所及び管理者を別々に分けた。また、施錠できる場所で管理している。	平成29年2月
		任意団体に関与していない市職員による出納事務の点検や事務執行に関する指導が行われていなかった。	事故等の未然防止を図るため、任意団体に関与していない市職員が定期的に点検等を行い、その結果について報告させるなどの体制に改善されたい。	現金出納簿等を整備し、毎月末に当該月の伝票及び通帳を回覧しており、団体事務に従事していない職員が毎月末に点検を行い、課長決裁を受けている。	平成29年3月
		環境変化等に対応して検証や改善努力が実践されていないため、課題が放置されたままになっている。	日常のマネジメントの一環として任意団体のあり方について検証し、説明責任を果たしていくことが必要なことから、マネジメント(特に部課長)の改善を図られたい。	実行委員会において、事業内容等PDCAサイクルを確立し、事業の検証等を実行委員と協働して行った。また、課題の洗い出しを行い実行委員会に提示した。	平成29年3月
	田川市「芸術文化体験事業」実行委員会	任意団体の事務に従事する明確な根拠がなかった。	市職員が公務として任意団体事務に従事する場合は、その根拠を明確にするため、事務分掌規則に規定するか事務分担表等の中で明文化されたい。	事務分担表に明文化した。	平成29年2月
		補助金申請と交付事務を同一の職員が行っていた。	補助金交付手続の適正執行の点から、相互牽制が図られ、チェック機能が働くような体制に改善されたい。	別々の職員が行い、複数職員によるチェックを行っている。	平成29年3月
		任意団体の規約等に事務局を市庁舎内に置く旨の規定がなかった。	事務局を担うことの根拠を明確化するため、規約等に規定されたい。	規約の整備を行った。	平成29年3月

措置状況報告一覧表【H28行政監査】

所属名称	団体名	指摘事項	意見・要望事項等	講じた措置	完了時期
文化生涯学習課 文化係	田川市「芸術文化体験事業」実行委員会	決裁規程が整備されていなかった。	決裁規程は、権限や責任を明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	規約の整備を行った。	平成29年4月
		会計規程が整備されていなかった。	会計規程は、作成すべき証票類や会計処理の方法などを明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	規約の整備を行った。	平成29年3月
		現金出納簿等の検査を市職員が行っていなかった。	団体監査機関による検査だけでなく、現金出納簿と預金残高の確認を複数の者が毎月チェックを行うなど、担当課として団体の会計処理が適正に行われているかの検査体制を整備されたい。	現金出納簿等を整備し、毎月末に当該月の伝票及び通帳を回覧しており、複数職員によるチェック及び課長決裁を受けている。	平成29年3月
		①通帳管理をしていない、②通帳や届出印の保管場所や管理者が同じ、③鍵のない場所に保管している状況があった。	通帳管理の徹底とともに、通帳と届出印の管理者を明確に区分し、最低限鍵付きの保管場所とするなど、保管・管理体制を改善されたい。	通帳と届出印の保管場所及び管理者を別々に分けた。また、施錠できる場所で管理している。	平成29年3月
		任意団体に関与していない市職員による出納事務の点検や事務執行に関する指導が行われていなかった。	事故等の未然防止を図るため、任意団体に関与していない市職員が定期的に点検等を行い、その結果について報告させるなどの体制に改善された。	現金出納簿等を整備し、毎月末に当該月の伝票及び通帳を回覧しており、団体事務に従事していない職員が毎月末に点検を行い、課長決裁を受けている。	平成29年3月
		環境変化等に対応して検証や改善努力が実践されていないため、課題が放置されたままになっている。	日常のマネジメントの一環として任意団体のあり方について検証し、説明責任を果たしていくことが必要なことから、マネジメント(特に部課長)の改善を図られたい。	実行委員会において、事業内容等PDCAサイクルを確立し、事業の検証等を実行委員と協働して行った。また、課題の洗い出しを行い実行委員会に提示した。	平成29年3月
	田川市秋季市民文化祭実行委員会	任意団体の事務に従事する明確な根拠がなかった。	市職員が公務として任意団体事務に従事する場合は、その根拠を明確にするため、事務分掌規則に規定するか事務分担表等の中で明文化されたい。	事務分担表に明文化した。	平成29年2月

措置状況報告一覧表【H28行政監査】

所属名称	団体名	指摘事項	意見・要望事項等	講じた措置	完了時期
文化生涯学習課 文化係	田川市秋季市民文化祭実行委員会	補助金申請と交付事務を同一の職員が行っていた。	補助金交付手続の適正執行の点から、相互牽制が図られ、チェック機能が働くような体制に改善されたい。	別々の職員が行い、複数職員によるチェックを行っている。	平成29年3月
		任意団体の規約等に事務局を市庁舎内に置く旨の規定がなかった。	事務局を担うことの根拠を明確化する必要があるため、規約等に規定されたい。	規約の整備を行った。	平成29年3月
		決裁規程が整備されていなかった。	決裁規程は、権限や責任を明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	規約の整備を行った。	平成29年4月
		会計規程が整備されていなかった。	会計規程は、作成すべき証票類や会計処理の方法などを明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	規約の整備を行った。	平成29年3月
		現金出納簿等の検査を市職員が行っていなかった。	団体監査機関による検査だけでなく、現金出納簿と預金残高の確認を複数の者が毎月チェックを行うなど、担当課として団体の会計処理が適正に行われているかの検査体制を整備されたい。	現金出納簿等を整備し、毎月末に当該月の伝票及び通帳を回覧しており、複数職員によるチェック及び課長決裁を受けている。	平成29年3月
		①通帳管理をしていない、②通帳や届出印の保管場所や管理者が同じ、③鍵のない場所に保管している状況があった。	通帳管理の徹底とともに、通帳と届出印の管理者を明確に区分し、最低限鍵付きの保管場所とするなど、保管・管理体制を改善されたい。	通帳と届出印の保管場所及び管理者を別々に分けた。また、施錠できる場所で管理している。	平成29年3月
		任意団体に関与していない市職員による出納事務の点検や事務執行に関する指導が行われていなかった。	事故等の未然防止を図るため、任意団体に関与していない市職員が定期的に点検等を行い、その結果について報告させるなどの体制に改善されたい。	現金出納簿等を整備し、毎月末に当該月の伝票及び通帳を回覧しており、団体事務に従事していない職員が毎月末に点検を行い、課長決裁を受けている。	平成29年3月
		環境変化等に対応して検証や改善努力が実践されていないため、課題が放置されたままになっている。	日常のマネジメントの一環として任意団体のあり方について検証し、説明責任を果たしていくことが必要なことから、マネジメント(特に部課長)の改善を図られたい。	実行委員会において、事業内容等PDCAサイクルを確立し、事業の検証等を実行委員と協働して行った。また、課題の洗い出しを行い実行委員会に提示した。	平成29年3月

## 措置状況報告一覧表【H28行政監査】

所属名称	団体名	指摘事項	意見・要望事項等	講じた措置	完了時期
文化生涯学習課 文化係	こども音楽祭実行委員会	任意団体の事務に従事する明確な根拠がなかった。	市職員が公務として任意団体事務に従事する場合は、その根拠を明確にするため、事務分掌規則に規定するか事務分担表等の中で明文化されたい。	事務分担表に明文化した。	平成29年2月
		任意団体の規約等が制定されていなかった。	規約等は、当該団体の設置・運営の根拠となるものであるため制定されたい。	規約の整備を行った。	平成29年3月
		任意団体の規約等に事務局を市庁舎内に置く旨の規定がなかった。	事務局を担うことの根拠を明確化するため、規約等に規定されたい。	規約の整備を行った。	平成29年3月
		決裁規程が整備されていなかった。	決裁規程は、権限や責任を明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	規約の整備を行った。	平成29年4月
		会計規程が整備されていなかった。	会計規程は、作成すべき証票類や会計処理の方法などを明確にするものであるため、制定されていない団体は整備されたい。	規約の整備を行った。	平成29年3月
		現金出納簿等の検査を市職員が行っていないかった。	団体監査機関による検査だけでなく、現金出納簿と預金残高の確認を複数の者が毎月チェックを行うなど、担当課として団体の会計処理が適正に行われているかの検査体制を整備されたい。	現金出納簿等を整備し、毎月月末に当該月の伝票及び通帳を回覧しており、複数職員によるチェック及び課長決裁を受けている。	平成29年3月
		①通帳管理をしていない、②通帳や届出印の保管場所や管理者が同じ、③鍵のない場所に保管している状況があった。	通帳管理の徹底とともに、通帳と届出印の管理者を明確に区分し、最低限鍵付きの保管場所とするなど、保管・管理体制を改善されたい。	通帳を作成し、通帳と届出印の保管場所及び管理者を別々に分けた。また、施錠できる場所で管理している。	平成29年3月
		任意団体に関与していない市職員による出納事務の点検や事務執行に関する指導が行われていなかった。	事故等の未然防止を図るため、任意団体に関与していない市職員が定期的に点検等を行い、その結果について報告させるなどの体制に改善されたい。	現金出納簿等を整備し、毎月月末に当該月の伝票及び通帳を回覧しており、団体事務に従事していない職員が毎月末に点検を行い、課長決裁を受けている。	平成29年3月

措置状況報告一覧表【H28行政監査】

所属名称	団体名	指摘事項	意見・要望事項等	講じた措置	完了時期
文化生涯学 習課 文化係	こども音楽祭実行 委員会	環境変化等に対応して検証や改善 努力が実践されていないため、課題 が放置されたままになっている。	日常のマネジメントの一環として任意 団体のあり方について検証し、説明責 任を果たしていくことが必要なことか ら、マネジメント(特に部課長)の改善を 図られたい。	実行委員会において、事業内容等PD CAサイクルを確立し、事業の検証等 を実行委員と協働して行った。また、課題 の洗い出しを行い実行委員会に提示し た。	平成29年3月